



UX デザイン研究室

UX Design Lab.

益岡 了

MASUOKA, Ryo / Professor

CLOSS ダンボールのイメージを変えるプロダクトデザインの提案

CLOSS: Proposal of Product Design that Changes Image of Cardboard

ダンボールのイメージとはどんなものだろうか。
多くは、四角く、茶色の箱を連想することだろう。

日本では1909年にダンボール産業が始まったが、ダンボールは青果物の箱であったり、お菓子などを入れる化粧箱、その他重量物用の箱だったり、時代の変化とともに多様化するニーズに応えながら、梱包材の主役として使われてきた。これこそがダンボール=箱というイメージ定着させる要因となった。

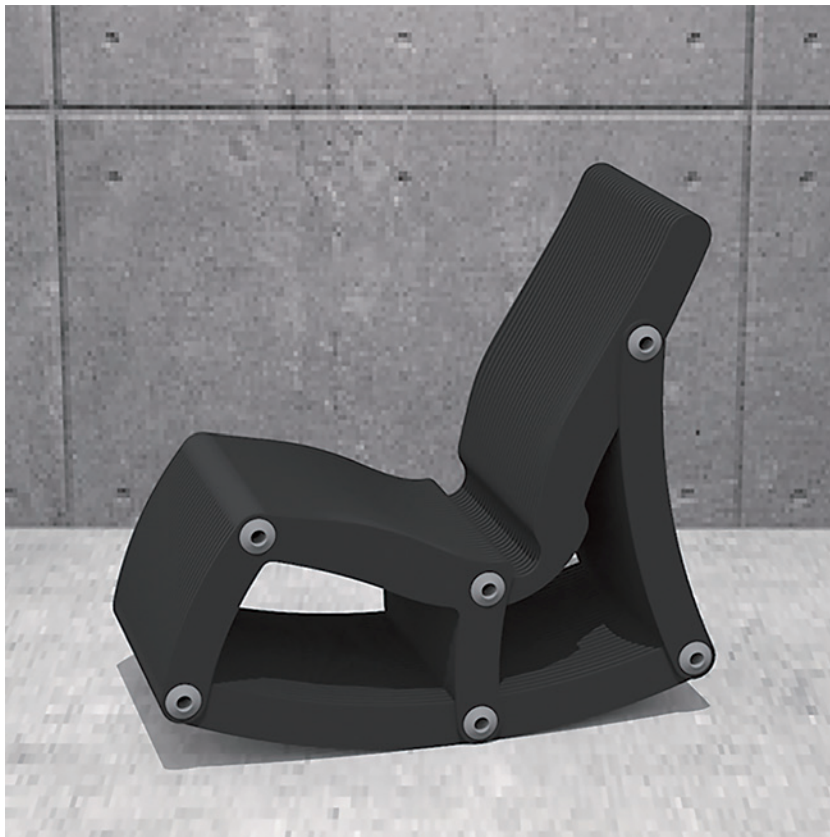
しかし、近年では、震災とSDGsの取り組みにより、ダンボールが素材として認識されるようになってきた。そこで、ダンボールが箱になる前のシートを曲線状にカットし、切り出したパーツを互い違いに積層した。新たなダンボールの需要と環境に配慮した製品を創出するべく、それらのダンボール素材を立体的に構成することでロッキングチェアを提案する。



プロダクト・情報部門賞

山村 楽

YAMAMURA, Gaku



ポータルサイトのリニューアルデザインの提案

Proposal for Renewal Design of OIT Portal Site



現在多くの学生は、大学が運営する専用のサイトであるポータルサイトを活用し、学校の連絡事項の確認や履修登録などを行っている。しかし、このポータルサイトに対して使い勝手が悪いという声が散見されている。そこで快適で使いやすい画面構築及び機能について制作を、大阪工業大学のポータルサイトを例に行った。

アンケートやポータルサイトのリサーチ、カスタマージャーニーマップによる調査などを行い、使いにくい原因を考察した。結果、PCだけでなくスマートフォンからも容易に使用できるよう、レスポンシブデザインの必要性や、UI上の問題も明らかになった。

そこで提案として、マテリアルデザインを主軸として、調査によって明らかになった問題点の解決および、学生が必要と思える機能の追加などによって、改善できると考えた。

マテリアルデザインを活用し、学生が使用するにあたり快適なデザインを目指す。



金田 陽輝

KANATA, Haruki

cocoro color 大切な人に贈るいろつくり体験

cocoro color: Experience of Making Color for Your Precious Person

いつもありがとう。頑張ってるね。お疲れさま。

なかなか言葉にできないけれど、

たくさん伝えたい想いをいろに込めて

大切な人の日常により添えたら…

そう思いながら制作しました。

いろのチカラや面白さを感じながら、

大切な人へ ころから のいろを

作ってみませんか？

あなたと大切な人の気持ちを

少しでもあたたかくできますように…。

ころカラーでは 画面上でいろをつくり

そのいろに対応する紙を大切な人にプレゼントする

という体験を提案します。

それを近くにおいてもらうことで

ふとした時にあなたの存在や想いを感じてもらえるよう、

“ころ”と“いろ”を対応させています。

普段できない ころから のいろつくりを

お楽しみください。



寺田 栞

TERADA, Shiori

